

科目名	ヒューマンバイオロジー								
英文科目名	Human Biology								
担当教員	松村秋芳、樋口桂								
授業形態	講義								
学年	1年	クラス	1	開講学期	前期	単位区分	必	単位数	2
ディプロマポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ・医療人としての倫理観をもち、責任ある行動ができる。 ・理学療法士として必要とされる基本的な知識・技術を有している。 ・他者とコミュニケーションをとり、協調した行動ができる。 ・自ら課題を発見し、学修することができる。 								
授業の目的 到達目標	<p>【授業目的】 生物の基礎を学び、大学における生物系の学問を理解するための土台となる知識を身につける。生物界のシステムと生体機能のメカニズムを学ぶことにより、生物現象の本質を理解する。さらに、医学関連分野に活用できる基礎知識および考える力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成している細胞・組織の構造と機能について説明することができる。 ・細胞増殖と細胞死について説明することができる。 ・遺伝子について説明することができる。 ・ヒトの生殖器官と発生について説明することができる。 ・免疫について説明することができる。 ・生体内の情報伝達について説明することができる。 ・生物の進化について説明することができる。 ・生物多様性の重要性について説明することができる。 								
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞について:細胞膜の基本構造と機能 2. 細胞小器官の構造と機能 3. 組織と器官の構造と機能 1 4. 細胞分裂:細胞周期とその調節機構 5. 組織と器官の構造と機能 2 6. 細胞の増殖:癌細胞の増殖とその特徴 7. 遺伝子 DNA と RNA の構造と機能 8. 生殖細胞の形成 9. 発生とそのしくみ 10. 酵素反応の特性 11. 細胞の代謝とエネルギー 12. 生体の情報伝達系:神経系、感覚系、ホルモン 13. 免疫のしくみ:自然免疫と獲得免疫 14. 進化の歴史とメカニズム:ヒトの進化、進化と病気 15. 生物多様性と種間の相互作用:自然の中のヒト、食物連鎖と生物濃縮、SDG s 								
学習演題 予習・復習	<p>1-5 回目:予習として、教科書 pp.2-66 を熟読してくる。</p> <p>復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>3,6-7 回目:予習として、教科書 pp.68-80 を熟読してくる。</p> <p>復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>8-9 回目:予習として、教科書 pp.83-112 を熟読してくる。</p> <p>復習として、生物学資料集の内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>10-11 回目:予習として、教科書 pp.114-141 を熟読してくる。</p> <p>復習として、配布プリントの内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>12-13 回目:予習として、教科書 pp.147-209 を熟読してくる。</p> <p>復習として、配布プリントの内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>14-15 回目:予習として、教科書 pp.254-291 を熟読してくる。</p> <p>復習として、配布プリントの内容と授業で扱った内容についてまとめる。</p> <p>各回の授業に対して予習・復習時間は、合計で4 時間程度とする。</p>								

授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は対面形式で行う。オンデマンドで行う場合には、あらかじめ通知する。 ・授業の中で確認問題を行い、回答と解説を行う。 ・授業終了後に Teams を通して課題を提示し、次週にフィードバックを行う。
成績評価の基準	定期試験(80%)、課題の提出(20%)
教科書	「医歯薬系のための生物学：コアカリキュラムを基礎から学ぶ」 — 小林賢、松村秋芳 ほか著、講談社、2018年2月、ISBN: 9784061536944
参考書	「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」和田勝 羊土社 2011年(第2版)
実務経験のある教員による授業	
実務経験の内容	-
実務経験の当該科目への活用	-